



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094

URL <https://www.nihonkagakuangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 角谷博樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 吉田 豊

(TEL) 03-5246-3544

経営企画室部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,400	5.5	878	△1.7	1,067	△0.3	792	1.3
2025年3月期第1四半期	6,065	10.6	893	48.5	1,070	47.8	782	57.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 836百万円(△7.7%) 2025年3月期第1四半期 906百万円(9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	40.72	—
2025年3月期第1四半期	40.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	54,545	46,426	85.1
2025年3月期	54,303	46,478	85.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 46,426百万円 2025年3月期 46,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,660	△3.1	2,130	△25.5	2,470	△23.1	1,800	△23.6	92.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	20,280,000株	2025年3月期	20,280,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	819,409株	2025年3月期	819,409株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	19,460,591株	2025年3月期1Q	19,443,974株
------------	-------------	------------	-------------

注) 期末自己株式数には、役員及び従業員向け株式交付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が保有する当社株式 (2026年3月期第1四半期296,268株、2025年3月期296,268株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における日本経済は、中国経済の低迷、インフレ傾向の継続、米国の関税政策の経済への影響等、依然として不透明な要素があるものの、消費や設備投資が堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは2023年10月よりスタートした中期経営計画に基づき、2030年のありたい姿を視野に入れ、持続的な成長を目指しており、当第1四半期も計画に沿って施策を推進しております。特に、リチウムイオン電池リサイクルパイロットプラント建設は計画通り進捗し、サステナブルな社会への貢献と事業基盤の構築に向けて取り組んでおります。また、既存分野では、製品の販売・生産数量の確保・拡大に加え、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザー開拓にも継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比334百万円 5.5%増の6,400百万円、営業利益は前年同四半期比14百万円1.7%減の878百万円、経常利益は前年同四半期比3百万円0.3%減の1,067百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比10百万円 1.3%増の792百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業では、主要な分野である電子工業の出荷額は引き続き緩やかな回復基調にあり、国内市場における需要の回復による販売数量の拡大や、一部の非鉄金属相場の高騰等が売上高の増加に貢献いたしました。労務費、物流コスト等が増加する一方で、製品の付加価値向上等による販売単価アップ、生産コスト削減に加え、東アジア及び東南アジアでの需要拡大に対応した海外(タイ)子会社であるサイアム・エヌケーエス社の業績伸長等によりセグメント利益が拡大いたしました。二次電池用正極材の受託加工は、世界のEV販売台数の成長に陰りがみられる不透明な状況におきましても、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同四半期比275百万円5.3%増の5,462百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比14百万円1.5%増の983百万円となりました。

[建材事業]

建材事業は、長期的な新設住宅着工戸数の減少という厳しい事業環境が続いております。このような中で、当社は新規顧客の開拓、新製品の拡販努力を継続し、前年同四半期に比べ増収となりましたが、労務費、物流コスト等が増加しセグメント利益は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同四半期比59百万円6.8%増の938百万円となり、また、セグメント利益は前年同四半期比7百万円5.2%減の135百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における流動資産は、長期預金の振替によって現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比4,890百万円増の33,392百万円となりました。一方、固定資産は前連結会計年度末比4,648百万円減の21,152百万円となりました。このうち、有形固定資産はリサイクルパイロットプラント建設の進捗等に伴い建設仮勘定が増加しましたが、機械及び装置等の減価償却が進んだことにより、前連結会計年度末比28百万円減の8,396百万円となりました。また、投資その他の資産は、長期預金が増加したこと等により、前連結会計年度末比4,617百万円減の12,647百万円となりました。以上の結果、総資産は前連結会計年度末比241百万円増の54,545百万円となりました。

一方、流動負債は仕入債務等が増加したことにより、前連結会計年度末比160百万円増の5,823百万円となり、固定負債がその他有価証券評価差額金増加に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末比133百万円増の2,294百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比293百万円増の8,118百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比52百万円減の46,426百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.6%から85.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、事業を取り巻く外部環境の変動を勘案し、2025年5月14日公表の業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,418,395	20,204,789
受取手形及び売掛金	6,948,707	6,764,988
電子記録債権	943,277	955,670
商品及び製品	2,062,624	2,140,442
仕掛品	1,242,391	1,437,734
原材料及び貯蔵品	1,722,980	1,808,359
その他	165,141	81,557
貸倒引当金	△1,200	△1,110
流動資産合計	28,502,318	33,392,431
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,337,477	2,162,692
その他（純額）	6,086,989	6,233,671
有形固定資産合計	8,424,467	8,396,363
無形固定資産	112,037	108,534
投資その他の資産		
投資有価証券	8,854,753	9,238,423
繰延税金資産	7,100	6,251
長期預金	7,100,000	2,100,000
その他	1,304,808	1,304,805
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	17,265,092	12,647,910
固定資産合計	25,801,598	21,152,808
資産合計	54,303,916	54,545,240
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,743,976	3,051,379
電子記録債務	437,955	358,175
短期借入金	263,800	140,000
未払法人税等	446,982	320,117
賞与引当金	420,000	220,000
役員賞与引当金	40,000	6,875
その他	1,310,888	1,727,059
流動負債合計	5,663,603	5,823,606
固定負債		
繰延税金負債	1,627,281	1,741,138
退職給付に係る負債	350,728	351,122
役員株式給付引当金	95,689	101,245
従業員株式給付引当金	-	13,749
資産除去債務	40,735	40,800
その他	47,006	46,895
固定負債合計	2,161,442	2,294,950
負債合計	7,825,045	8,118,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	856,908	856,908
利益剰余金	40,905,658	40,809,109
自己株式	△920,903	△920,903
株主資本合計	41,875,663	41,779,114
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	3,272,862	3,537,128
為替換算調整勘定	1,173,651	968,128
退職給付に係る調整累計額	156,692	142,311
その他の包括利益累計額合計	4,603,206	4,647,568
純資産合計	46,478,870	46,426,682
負債純資産合計	54,303,916	54,545,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,065,630	6,400,466
売上原価	4,369,897	4,675,249
売上総利益	1,695,733	1,725,217
販売費及び一般管理費	802,635	847,039
営業利益	893,097	878,177
営業外収益		
受取利息	3,911	23,947
受取配当金	101,819	111,690
不動産賃貸料	19,536	20,104
為替差益	43,422	918
その他	18,373	40,749
営業外収益合計	187,063	197,409
営業外費用		
支払利息	1,301	600
賃貸収入原価	8,006	7,809
その他	63	58
営業外費用合計	9,371	8,468
経常利益	1,070,789	1,067,118
特別利益		
固定資産売却益	49	1
投資有価証券売却益	42,041	9,932
特別利益合計	42,091	9,933
特別損失		
固定資産除却損	178	1,966
特別損失合計	178	1,966
税金等調整前四半期純利益	1,112,702	1,075,085
法人税等	330,586	282,576
四半期純利益	782,115	792,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	782,115	792,508

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	782,115	792,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,783	264,265
為替換算調整勘定	13,886	△205,522
退職給付に係る調整額	△12,233	△14,381
その他の包括利益合計	124,436	44,361
四半期包括利益	906,552	836,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906,552	836,870
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,186,771	878,858	6,065,630	—	6,065,630
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,186,771	878,858	6,065,630	—	6,065,630
セグメント利益	968,931	143,358	1,112,290	△219,192	893,097

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,192千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,462,033	938,433	6,400,466	—	6,400,466
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,462,033	938,433	6,400,466	—	6,400,466
セグメント利益	983,548	135,933	1,119,482	△241,305	878,177

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,305千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	241,329千円	250,341千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	4,137,080	878,858	5,015,939
海外	1,049,691	—	1,049,691
顧客との契約から生じる収益	5,186,771	878,858	6,065,630
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,186,771	878,858	6,065,630

当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	4,291,857	938,433	5,230,290
海外	1,170,175	—	1,170,175
顧客との契約から生じる収益	5,462,033	938,433	6,400,466
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,462,033	938,433	6,400,466

(重要な後発事象)

該当事項はありません。